

入居企業紹介 その100

新しくSICに入居された企業をご紹介します。

Desk⑩ ステラ技研株式会社

「安全を技術で創造する」



【代表プロフィール】

ステラ技研株式会社
代表取締役 林 健治 (はやし けんじ) 67歳
福岡県小倉市(現北九州市)出身
九州大学理学部物理学科卒業
今の会社を立ち上げる前に四国八十八箇所を巡るお遍路の旅をされたことがあるそうです。

【起業しようと思ったきっかけは?】

外資系で当時大型汎用コンピュータのベンダーであった日本ユニパック(株)(現日本ユニシス(株))にて、技術、営業、マーケティング、商品企画職を歴任したのち、ステラ技研(株)を設立。技術の発展が著しい昨今、建築物や交通等の社会インフラの高層化・高度化が続く一方、それらのメンテナンスは人手に頼っている状況に疑問を抱いていた。危険な仕事には不幸な事故が常につきまとうが、そこにこそ新たな技術による問題解決がなければならないという使命を感じ、壁面自走ロボットの開発に乗り出す。

今でこそやっと「高所等の極限環境での作業ロボット」の必要性が社会的にも受け入れられ始めたが、創業してからしばらくの間は変人扱いされることが多かった。不幸にして起こってしまった東日本大震

災を契機に皮肉にも注目されるようになったが、今こそ我が社の技術を社会で本当に役に立つものにしていきたい。

【事業紹介】

外壁走行作業ロボットの開発・設計、販売が主な事業で、垂直壁走行ロボット「天龍」は現在開発中の製品で4代目となる。

真空技術をコア技術として、設立当初は高層ビル外壁の点検等に使用するゴンドラを安定させる装置を開発し、その他、電動ハンディ吸着パッドも製造、販売中。



高所に昇る「天龍」

垂直壁走行ロボット「天龍」

電動ハンディ吸着パッド「タコパッド」

【これからの夢または目標は?】

現在開発中、または販売しているロボットシステムが広く普及し、危険な作業による事故が無くなり、低コストでのインフラ・メンテナンスに貢献できることを目指している。垂直壁走行ロボットの製品名「天龍」には「龍のごとく天まで昇れ」という想いを込めている。

また、社名のなかのステラはラテン語のstella(日本語で「星」)に由来し、星に迄とどく様な夢を必ず実現したいとの思いの顕れである。それが叶った暁にはもう一度四国八十八か所を巡りたい。

ステラ技研株式会社
Desk⑩会員
<http://www.stella-rtec.co.jp/>

【相模原市からのお知らせ】

相模原市青年起業家育成基金への
寄付金を募集しています!!



市内産業の活性化を図るため、次代を担う若い世代を対象とした諸事業に役立たせていただきます。

《基金の用途》さがみはら子どもアントレプレナー体験事業に活用しています。基金の趣旨にご賛同いただき、ご寄附いただける場合は、SIC-1とSIC-2のロビーにあります寄付申出書を郵送、ファックス、窓口持参又は電子メールで産業政策課までご提出ください。

お問い合わせ先: 相模原市 産業政策課 (市役所本館5階)
〒252-5277 中央区中央 2-11-15
電話 042-769-8237 FAX 042-754-1064
E-mail: sangyouseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

《SIC ボウリング 6月25日(火)開催!》

たまには、仕事を終えて、みんなでボウリングしよう!というSICスタッフの発案で参加者を募集しています。個人戦なので、グループ参加、一人での参加もOKです。たまには、ボウリングしてみようかなと思ったら、エントリーしてください。賞品もあるかも?

日時: 平成25年6月25日(火)
18:30スタート(予定)
場所: 相模ファーストレーン(予定)

申込み期限が5月31日(金)まででしたが、余裕がありますので、お声かけください。まだ間に合います!!



入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

4月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

- 5月 6日(月) (有) **コウチャ**
 相模川新聞 ビジネスウォッチ
 「ホームページで業績を伸ばせ！」
- 5月10日(金) (株) **テクニカルエンジニアリングサポート**
 相模経済新聞 「社内交流円滑に ビジネス用SNS」
- 5月10日(金) **Ronk ジャパン (株)**
 相模経済新聞 無線システム「歌舞伎座が全面採用」
- 5月20日(月) (株) **テクニカルエンジニアリングサポート**
 相模経済新聞 「トライアル発注認定企業を追求」
 社内を繋ぐ SNS

《セレクト Cafe - 開催報告》

入居者交流会「女性限定ハンドメイド&カフェ」が5月21日(火) 17:30から大会議室で開催されました。

当日は、20代から50代のセンター内でお勤めしている女性が11名参加。ケーキセットや会話を楽しんだり、自分好みのブローチを作るひと、好きな布の組み合わせでカードケースを作る人、それぞれ色々楽しんでいました。「キラキラトーク」?はあったでしょうか?



ご案内

《今年も「子どもアントレ」始まります!》

- 募集期間: 6月1日(土) ~ 12日(水)
- 対象: 小学校5~6年生 (市内在住者)
- 日程: 平成25年8月14日(水)、16日(金) ~ 18日(日)
- 場所: サン・エールさがみはら、相模川ビレッジ若あゆ他
- 定員: 48名 (市内在住者の方、参加経験のない方優先)



《SIC 経営塾 - ニュービジネスリーダー育成セミナー -》

- 開催日時: 平成25年6月~平成26年2月
- 会場: さがみはら産業創造センター (SIC-2)
- 対象: 経営者または経営幹部

《SIC 職場リーダー養成塾》

- 開催日時: 平成25年6月~平成25年12月
- 会場: さがみはら産業創造センター (SIC-2)
- 対象: 職場のリーダー

《第26回南西フォーラム》

- ロボット関連産業への参入機会を考える -

- 開催日時: 平成25年7月9日(火) 16:00 ~
- 会場: サン・エールさがみはら

《第4回台湾ビジネスマッチング》

- 開催日時: 平成25年9月25日(水) ~ 29日(日) (4泊5日)
- 台湾現地集合・解散 申込み受付延長中!

詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。

※第26回南西フォーラムは、6月初旬アップ予定です。
 ※セレクト Cafe の開催報告は、新着情報をご覧ください。

わたしの好きなこと・もの・時間

どんな人ですか? SIC スタッフ編

〈広報担当 荻島 穂浪〉

私の毎日の楽しみは、一日の終わりのビールでしょうか。発泡酒でも第三のビールでもなく、ビールです。コロナやバドワイザーなど、少々軽めのもので。贅沢だと言わないでください。今日一日のご褒美なのです。200円以上するものは買いません。ボトルのコロナでも100円台で売っています。時々、夕食後にやらなければならない事がある日は、麒麟のゼロを飲みます。何か中毒っぽい?

しかし、健康診断で1日350ccでは、何も注意を受けません。ドイツでは、中学生にビールを勧めます。朝から炭酸の水がビールです。その生活には、相当抵抗があります。などと、一生懸命自分を擁護してみたりしますが、このビールを止めれば、きっと痩せるだろうにとも思うこの頃ではあります。

また今年も梅雨の季節に突入し暑い夏がやってきます。思い出すのは、インドネシアのビールビンタン。インドネシアで飲むからおいしい。日本で飲むのは、やっぱり日本のビールかな?と言いながら、コロナとバドワイザーとは此れ如何に?歳をとった証拠でしょうか、軽いビールがいいようです。

年に1度は実家の富山へ車で帰省します。中央高速を松本で降り、上高地方方面へ向かい安房トンネルを通過して高山を抜けて行きます。



その途中で、地酒を必ずお土産に買って行きます。実家に着いたら夕食はビールで乾杯、その後はおいしい地酒になります。帰るときには、富山の立山純米吟醸を最近持たせてくれます。美味しい日本酒でも、その前にやっぱりビールは欠かせない。皆さんは?

〈施設管理担当 生井 雄一郎〉

私は小さいころから動物が大好きで、大自然の中で生きる野生動物の記録映画やテレビを見るのが楽しみでした。

小学生のころに「百獣の王ライオン」という、アフリカのサバンナに暮らす草食動物や肉食動物の記録映画を見て感激しました。

特にチーターが狩りをする場面では、獲物を追って疾走する姿の美しさに感動し、翌日学校の図書室に行って動物図鑑でチーターについての項目を夢中で読んだのを覚えています。

家でもカナリヤ、文鳥などの小鳥や、カメ、ザリガニなどを飼って楽しんでいたので、漠然とですが、将来は動物学者になって、アフリカで野生動物の生態や行動を研究したいと思っていました。その夢を実現することはできませんでしたが、今でも野生動物についての記録映画やテレビ番組を見るのは大好きです。

最近、かみさんと一緒にガーデニングをしながら、庭にやってくる小鳥や蝶を見るのも楽しみになっています。横浜のはずれにある我が家は周りにまだ自然も残っていますので、珍しい小鳥は来ませんが、メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリ、オナガ、ウグイス、ムクドリ、コゲラなどがやってきます。

また昔は蝶の標本を作って楽しんでいたり、蝶が花の蜜を求めて庭に来るので、それを見るのも楽しみです。人間の生活にとっては、いろいろな面で便利になってきましたが、やはり自然に接する時に一番気持ちが癒されると感じています。



編集後記

いつもより早い梅雨の季節が始まりました。今年は相模原市の「市の花」でもある紫陽花の花を楽しみにしています。と言うのは、昨年の初めに自宅の紫陽花の花を咲かせようと本に書いてある通りに剪定をしたところ、みごとに一つも咲かなかったのです。何かを間違えてしまったのでしょうか。今年は、そのまま何もせずいたところ、たくさんの花芽をつけています。 荻島